

# 人権だより (第1号)

平成29年5月19日

人権教育委員会

5月12日(金)、人権教育講演会(第1回人権教育LHR)を実施しました。講師として興譲館高校元校長の小谷彰吾先生をお招きし、『あなたが変わる 明日が変わる 未来が変わる ~これからの時代を生きる君たちへ~』という演題で講演をしていただきました。

生徒のみなさんの感想の一部を紹介します。



## 〈感想〉

- 先生がおっしゃっていた「すべての出会い・出来事に意味があるという言葉」が心にグッときました。
- 自分も何か挑戦してみようと思った。「志」という漢字を自分も使えるようになりたい。自分にも価値があるんだな、思い切りやってみよう!と思った。
- 自分はダメな人間だとか、なにもできないとか、意味がないとか、いなくなっても別にどうってことないと思っていました。でも私たちは、奇跡的に生まれて「生かされている」存在なんだと思えました。だから、マイナスに考えるばかりでなく、できることを増やし、チャンスを見逃さずにつかんでいきたいと思いました。
- この講演を聞いて、私はまずは志すものを明確にしておきたいと思った。それを見つけて「縁」を生かせるようになりたいと思う。また、周りを気にしすぎてしまって、こうしたいと思うことができないこともよくある。自分の殻をやぶる勇気をもって、理想の大人に近づきたい。
- 誰かのためになれるような人になりたいと思ったし、あたりまえのことがありがたいことという言葉がとても印象に残った。
- 自分の生まれてくる確率が400兆分の1だということは、実はお母さんからも聞いたことがありました。この奇跡に私は感謝しています。チャンスをチャレンジに変える、一歩踏み出す突破力が必要だという言葉など、重みのあるものばかりでした。
- 自分の思うことを大切にしたいし、周りの支えも大切だと思うので、感謝を忘れず生きていきたいと思った。大事なことをたくさん学んだ講演でした。